

(特色のある活動テーマ)

学校安全推進と防災意識の向上 ～近隣学校・保護者・地域との連携～

1 これまでの課題と活動のねらい

(1) 課題の把握と設定状況

ア つくばみらい市は鬼怒川と小貝川という大きな河川に隣接をしており、氾濫想定地域となっている。近隣校が緊急時に、協力できる学校間連携体制を構築することが必要である。

イ 本校は、水田に囲まれており、街灯が少なく夕方になると非常に暗い。そのため児童の登下校中に不審者に遭遇する可能性が高い。毎年の不審者対応の避難訓練では校内に不審者が侵入したときの訓練であるが、地域と連携をし、登下校中に不審者に遭遇した場合を想定した避難訓練を行い、自分自身を守る児童の育成を図ることが必要である。

以上2つの課題を把握とし、本主題を設定した。

(2) 活動のねらい

ア 地域や近隣学校が集まる研修会に管理職と中核教諭が参加し、危機管理マニュアルや防災教育への見直しを行うことで、学校安全教育の向上を図る。また、伊奈特別支援学校主催の「防災ワークショップ」や「防災キャンプ」に児童や保護者とで参加し、避難行動や防災意識を高める。

イ 地域や関係機関と連携を図り、様々な状況に合わせた避難訓練を設定し、「不審者侵入時の職員・児童の対応訓練」「防犯教室」「不審者対応かけこみ110番避難訓練」を実施することで、職員が不審者に対しての対応の仕方と児童自身が犯罪から身を守る危機回避能力の向上を図る。

2 計画と実践の状況

(1) 計画（資料1参照）

(2) 実践の状況

ア 近隣校が協力をした学校間連携体制（資料2参照）

① つくばみらい市教育委員会及び防災課担当と近隣学校管理職、中核教員が実践委員会に参加。アドバイザーや气象台の方からの専門的な知識を学び、安全上の課題や対策について考え、危機管理マニュアルの見直しを行った。

② 夏休みに伊奈特別支援学校主催の避難所開設訓練に職員2名で参加。防災講話を全教職員で参加。本校児童は親子で参加できる防災ワークショップに参加。地域で連携する防災意識について職員・保護者・児童でそれぞれ高めた。

③ 伊奈特別支援学校主催の防災キャンプに本校の1～3年生児童と教職員5名で参加。自然災害のメカニズムを学べるサイエンスショーの参観と起震車体験、煙体験を行い、自分自身の守り方について学んだ。

イ 地域と連携をした避難訓練の実施（資料2～3-4参照）

① 昨年度4回だった避難訓練や研修を7回に増やし、地域や保護者と連携する「小・中引き渡し訓練」「水害を想定した訓練」「不審者対応避難訓練」「全国瞬時警報システム Jアラートを活用した訓練」を行い、協力体制の構築を図った。

② 不審者対応避難訓練に備え、事前に茨城県警察本部の方に職員研修を行ってもらい、護身術やさすまの使い方について学んだ。不審者対応避難訓練当日では、不審者が学校に入ったことを想定した実践訓練と児童の安全確保の訓練を行った。その後、茨城石油商業組合社会貢献委員会主催の茨城県警察本部生活安全総務課による「防犯教室」を実施した。不審者から児童が走って逃げる訓練「20mダッシュ訓練」を行った。下校後は、代表下校班の児童が下校中に不審者役から声をかけられ、近くのガソリンスタンドに駆け込む「かけこみ110番」を行った。不審者役の特徴を児童がガソリンスタンド店員に正確に伝え、冷静に対応することができた。後日「かけこみ110番」の様子を各学級で動画視聴した。再度、不審者にあった場合の対応の仕方と身の安全の取り方について確認をした後、防災手帳に感想を書いた。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 1～3年生参加の防災キャンプ終了後にアンケートを実施した結果、「地震が起きたときは机の下などに隠れて自分の身を守る」と回答した児童が100%、「火事など煙がたくさんあるときは、煙が上に行くため身を低くして口を押える」と回答した児童が94.1%だった。

イ 防犯教室についてアンケートを全校児童に実施した結果、「不審者に声をかけられたとき、どのようにしたらよいか分かった」と回答した児童が97.8%、「自分の身の守り方について分かった」と回答した児童が96.6%、不審者から何メートル逃げたらよいかという問いに対し20mと回答した児童は100%だった。

以上アとイの結果から、地域や学校間、関係機関と協力をして様々な体験や訓練を行ったことで、自分自身の身を守る危機回避能力や防災意識を高めることができたと考えられる。

(2) 今後の課題

ア 災害時の身の守り方だけでなく、学校が避難所になったときや、児童の心のケアの仕方について職員がどのように対応すればよいか、訓練や研修をする必要がある。

イ 地域と連携した避難訓練では、下校時に下校班で不審者と会ったことを想定とした訓練だったが、もしも一人だった場合どのように対応すればよいかなど、様々な場面を想定した訓練や防犯教育が必要である。

以上の2つの課題から、日頃から近隣学校・保護者・地域との連携を行い、協力体制の構築や情報共有に努めていきたい。

学校間連携の実施計画

日程	行事名	内容
7月23日(火)	第1回実践委員会(管理職・中核教員参加)	取組の方向性や実施内容、中核教員の役割確認及び中核教員研修会
7月29日(火)	避難所開設訓練(中核教員2名参加) 防災講話の参加(全教職員)	拠点校における市と連携した避難所設営体験及び防災講演会
8月7日(木)	防災ワークショップ(保護者・児童参加)	拠点校における防災キャンプへの訪問研修(親子5組)
11月6日(木)	いなとく防災キャンプ 1～3年児童の参加	防災科学実験ショーや起震車体験
12月10日(水)	第2回実践委員会(管理職・中核教員参加)	各学校の取組の共有

イ 地域と連携をした避難訓練の実施

避難訓練や職員研修の実施計画

日程	計画	内容	地域との連携
第1回 4月17日(木)	火災を想定した避難訓練・避難経路の確認	避難経路を確認する	
第2回 4月28日(月)	小中連携引き渡し訓練(地震)	小・中学校が連携をして、保護者への引き渡しを行う	保護者・中学校
第3回 9月2日(火)	職員研修(護身術)	不審者に対する身の守り方とさすまたの使い方の実践研修	茨城県警察本部
第4回 9月3日(水)	水害を想定した避難訓練	水害時の避難経路の確認をする	学校運営協議会
第5回 11月11日(火)	不審者対応避難訓練	(昼休み)不審者が侵入したときの、職員・児童の対応の訓練。(5時間目)全校児童に防犯教室の実施。(下校時)不審者に遭遇したときに、かけこみ110番の訓練	・県保健体育課・市教育委員会・茨城県警察本部・常総警察・茨城県石油商業組合・金柵石油(株)セイフル伊奈支店・本校PTA本部
第6回 11月12日(水)	全国瞬時警報システムJアラートを活用した訓練	Jアラートの警報に合わせて地震を想定した訓練	全国Jアラート一斉
第7回 1～2月	地震を想定したシェイクアウト訓練(予告なし)	予告なしの避難訓練を行い、児童ひとりひとりが冷静に身の安全の確保と速やかな避難をする	

ア 近隣校が協力をした学校間連携体制の様子

資料 2

8月7日 防災ワークショップの様子



11月6日 いなとく防災キャンプの様子



ナダレンジャーショー



起震車体験



煙体験

イ 地域と連携をした避難訓練の実施の様子

4月28日 小中引き渡し訓練



9月2日 職員研修(護身術)



9月3日 水害を想定した避難訓練



11月11日

①不審者対応訓練



教室での様子(バリケード)

②防犯教室



茨城県警察本部による講話

③かけこみ110番



下校中に不審者に声をかけられ、逃げる様子



職員の不審者対応訓練



20mダッシュ訓練



ガソリンスタンドにかけこみ
店長に状況を話す児童の様子



11月12日

Jアラートを活用した訓練の様子

自分の身は自分で守ろう!

豊小学校では、火災・水害・不審者に対する避難訓練を行ってきました。今年は、さらに伊奈特別支援学校主催の防災キャンプに1~3年生まで参加しました。また、全校で防犯教室や代表の下校班によるかけこみ110番も行い、自分自身の身の守り方について学びました。

11月6日(水)防災キャンプでは、ナダレンジャーが災害について科学的に分かりやすく教えてくれる「ナダレンジャーショー」を開催しました。事前や地震についても科学的に分かりやすく教えていただきました。起震車体験では、大きな揺れに対し、姿勢を低くしてしっかりと見つめていないと、倒れそうでした。煙体験では、害のない煙でしたが、それでも「息苦しかった」との声がありました。本当の火災の煙では、身を低くして、口をハンカチなどで押えて、煙を吸い込まないようにすることを学びました。体験を通じて、災害時にはどのように身を守ればよいかを学びました。

11月11日(火)の不審者対応訓練では、①不審者対応訓練 ②防犯教室 ③かけこみ110番の3つの訓練を行いました。不審者が侵入したときは、「OOOが水筒があった」というのが合図になります。子供たちは放送をよく聞いて、教室にバリケードを作り、カギを閉め、不審者が捕まるまでじっと待機することができました。防犯教室では「いかのおしし」や20m逃げれば、不審者から逃げ切れることを教わり、20mはどのくらいかかけこみ110番では、防犯教室で学んだことをしっかりと覚えて、近くのガソリンスタンドに逃げることでました。みんなで不審者の特徴を店員に伝えることができました。

ほけんだより
で避難訓練な
どの様子を保護者に周知。

令和7年度 不審者対応避難訓練実施計画

— かけこみ110番避難訓練 —
(地域のガソリンスタンドと連携した防犯教室)

学校安全・防災

1 目的

- 小学生の不審者による被害防止のため、地域の小学校とガソリンスタンドが連携し、防犯訓練を実施することで、児童の不審者対応に関する実践力を養う。
- 「かけこみ110番」の周知と、ガソリンスタンドを拠点とした地域の防犯体制づくりに貢献する。

2 主催

茨城県石油商業組合社会貢献委員会

<構成員>

- 茨城県警察本部生活安全総務課
- 茨城県警察本部交通総務課
- 茨城県教育庁学校教育部保健体育課
- 茨城県防災・危機管理部消防安全課
- 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
- J A 茨城エネルギー(株) 石油事業部推進課
- 茨城県石油商業組合委員

3 日時・内容

令和7年11月11日(火) ※5時間授業 14:30一斉下校

<晴天の場合>

13:10~13:25 避難訓練(不審者)

13:30~14:15 茨城県警察本部生活安全総務課の方による訓練(校庭)全児童

14:45~15:25 かけこみ110番避難訓練(金柵石油(株)セイフル伊奈)

代表児童(黄色コースから数名)による現地訓練

※ 迎えや学童を利用する児童を除く。

※ 訓練の様子を動画で撮影し、後日各クラスで動画を観る。

<雨天の場合> **かけこみ110番避難訓練は中止**

13:10~13:25 避難訓練(不審者)

13:30~14:15 茨城県警察本部生活安全総務課の方による20mダッシュ訓練(体育館)

4 実施場所

- ・つくばみらい市立豊小学校 (〒300-2347 つくばみらい市豊体 1692 Tel:0297-58-1008)
- ・金柵石油(株)セイフル伊奈 (〒300-2347 つくばみらい市豊体 617-5 Tel:0297-58-9130)
(学校から750m)

5 実施内容

(1) 事前指導(不審者侵入時の基本的な約束の確認)

① 不審者侵入による避難の仕方について話し合う。

- 出入り口(前・後方の扉のみ。ベランダ。)
- 不審者の動きによって避難できる経路の確認
- 身の安全を確保する方法

(大きな声を出す、防犯ブザー、施設、椅子でバリケードを作る、万が一の場合は、ベランダを通り隣のクラスへの移動)

② 不審者侵入時の自分の対応を考える。

- 「もし、不審者が教室(学校)に入ってきたらあなたはどのようにしますか」と、いろいろな場面(教師の不在の場面等)を想定しながら自分なりの対応を考えさせる。

③ 基本的な対応は「逃げる」ということを理解する。

- 児童の対応は「**基本は避難する・逃げる**」ことを理解させる。
- **不審者から遠ざかる。**
- みんなで集まって(かたまって)、静かに目立たないように逃げる。
- 不審者侵入に気付いていない児童がいたら、声をかけながら逃げる。
- **先生の指示に従って逃げる。**
- **普段から、放送はどんな時でも静かに聞くことを徹底する。**

④確認事項

- 集合場所
 - ・屋外退避が必要な場合→体育館（担任の指示に従う）
- 放送や笛、防犯ブザーについて
 - ・緊急放送の合い言葉

「訓練です。ただ今、〇〇（侵入した場所）で水漏れが発生しました。先生の指示に従ってください。」

- ・職員が職員室に内線かけるまたは、笛を鳴らす。→不審者が来たという合図。
- ・教室・ランドセルの防犯ブザーが鳴るか、確認しておく。（毎月安全点検日に行う 等）
- その他
 - ・担任は教室に鍵をかけ、児童を一カ所に集め静かに指示を待つように伝える。
 - ・内側に机椅子でバリケードを築く。
 - ・「安全確認」の放送があるまでは、絶対に動き回ったりしない。
 - ・職員は、不審者を取り押さえ、安全が確認されたら職員室に知らせる。

まず全児童の安全を優先（不審者から遠ざける） → 児童は確保の合図があるまでその教室から動かない(鉢合わせ防止) → 不審者確保の放送 → 担任は児童が戻ったら人数確認 → 職員室へ報告

(2) 訓練の順序と留意点・準備（雨天の場合は 14:20 一斉下校までの実施）

時間・場所など	内 容	留意点・準備
※給食まで通常日課 12:50～ 13:10～ 13:25～	<ul style="list-style-type: none"> ・来校者到着（控室：体育館） ・帰りの用意・帰りの会・事前指導 ・避難訓練（不審者対応） ・校庭（雨天時：体育館）へ移動する。 ※代表児童は各実施場所の前方に集合する。	<ul style="list-style-type: none"> ・講師（校長室で最終確認 校長、教頭、安全主任） ・来校者到着 ・駐車場は校庭（道路側）
13:10～13:25 ・体育館では、来校者に向けて概要説明（県保健体育課）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不審者避難訓練 <ul style="list-style-type: none"> ① 不審者が昇降口から侵入。 ② 養護教諭が刃物を持った不審者に気付き、<u>笛を鳴らし知らせる。</u> ～内線または、大声で叫ぶ場合～ 「刃物を持った不審な人が1階廊下にあります。対応をお願いします。」 ※不審者が移動するようであれば、居場所を知らせるために笛を鳴らし続ける。 ③ 教務・豊島先生がさすまたを持って急行する。 ④ 教頭「訓練です。ただ今1階で水漏れが発生しました。先生の指示に従ってください。」 	○不審者役：茨城県警
※流れは、別紙1参照		
13:30～14:15 校庭	<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯教室を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ①はじめのことば （5年組 さん） ②茨城県石油商業組合副理事長あいさつ 社会貢献委員会委員長 （ 様） ③出席者の紹介（教頭） ※紹介の仕方確認 ④20mダッシュ訓練 （茨城県警察本部生活安全総務課） 代表児童 計12人 ・20メートルどれくらい？クイズ 各学年1名 ・逃げろ！20メートルダッシュ訓練 各学年1名 	並び方： 別紙2参照 進行：○○ 放送機器：○○

	⑤お礼のことば (6年組 さん) ⑥校長先生のお話 ⑦終わりのことば (4年組 さん)	
14:15～ 14:30～	・教室へ移動する。 ・一斉下校(時間厳守)	・自分の通学路にある「110番の家」の旗や目印を意識しながら下校するよう話す。
14:45～15:00 金桝石油(株) セイフル伊奈	・代表の児童が、金桝石油(株)セイフル伊奈でかけこみ110番避難訓練を行う。(豊体13班) ①ガソリンスタンドの手前で声をかけられた児童が、ガソリンスタンドに駆け込んでくる。 ②店の人が声をかけ、児童をガソリンスタンドの安全な場所に誘導する。 ③店の人は、声をかけられた時の様子や不審者の身長、服装などの特徴について児童から話を聞く。 担当等の詳細は、別紙3参照	現地訓練参加職員 校長、教頭、〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 不審者役：茨城県警 ビデオ撮影 〇〇 写真撮影 〇〇 職員室 〇〇 〇〇 〇〇
15:00～15:10	・振り返りを行う。 ② 児童から ②金桝石油(株)セイフル伊奈 店長のお話 (様) ③講評 (常総警察署生活安全課課長 様)	
15:10	代表児童は終わり次第下校する。	・引率：〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
15:25		・講師、来校者見送り (校長、教頭、〇〇)

(3) 事後指導

- 後日「かけこみ110番避難訓練」の動画を視聴し、振り返りをする。(各クラス)
- ・登下校時など学校外で不審者が現れた時の避難や対応の仕方が分かったか。
- ・「かけこみ110番」について理解することができたか。 など

令和7年度 第5回 避難訓練（不審者対応）

学校安全・防災

1 想定

昇降口より不審者侵入

2 ねらい

- (1) 不審者侵入による緊急事態が発生した場合、児童を速やかに、かつ安全に所定の場所へ避難させる。
 (2) 被害を最小限にとどめるための方策と通報体制を確立する。（職員）
 (3) 避難方法について正しい知識を得て、沈着、迅速、安全に避難する。（児童）
 (4) 路上等で不審者と遭遇した場合の処置の仕方を知る。（児童）

3 実施計画

(1) 日時

令和7年11月11日（火）13:10～13:25

(2) 避難経路及び避難場所

①各教室での避難・待機

②各教室から体育館への移動 → この日は体育館への避難はせずに、校庭に移動をし、かけこみ110番の訓練を実施する。雨天の場合は体育館

4 実施方法

時間/流れ	職員の動き	児童の動き ※は留意点
13:00 事前指導	<p>○不審者侵入による避難の仕方について話し合う。 〈登下校時に不審者に出会ったとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声を出して逃げる。 ・防犯ブザーを鳴らす。 （教室で防犯ブザーが鳴るか確認をしておく。） ・近くの人に助けを求める。（かけこみ110番） ・家族に伝える。等 <p>〈学校で自分の教室等に不審者が侵入したとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で先生に知らせる。 ・急いで避難する。 ・椅子を盾にする。等 <p>〈学校で近くの階に不審者が侵入したとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の指示に従う。 ・教室に鍵をかけ、静かに指示を待つ。 ・教室の中央部に集まって待機をする。等 <p>○今日の訓練は、不審者を想定した訓練であることを伝える。 ○水漏れの放送が不審者侵入の合図であることを伝える 【昇降口より不審者が侵入】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いに積極的に参加する。 <p>※児童の自己判断を育成し、機転ある行動も必要であることを指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難は「お・か・し・も」を守って避難することを確認する。 <p>※授業中の場合、同じ階に不審者が侵入したときは避難、違う階を侵入したときは鍵を閉めて待機を原則とする。</p> <p>※児童には侵入する場所は知らせない。</p>
13:10 不審者侵入	<p>○養護教諭が刃物を持った不審者に気づき、笛を鳴らし知らせる。 「刃物を持った不審な人が1階廊下にあります。対応をお願いします」</p>	<p>※不審者は警察の方</p>
13:11 職員室通報	<p>○教務主任と豊島先生が1階廊下にさすまたを持って急行する。 ○教頭…緊急放送をする 「訓練です。ただ今、1階廊下で水漏れが発生しました。先生の指示に従ってください。」</p>	
13:12	<p>○教頭…警察、消防署に通報する。（校長本部対応） 「豊小学校の〇〇です。本校の敷地に不審者が侵入しました。不審者は刃物を持って校舎内にいます。児童に今のところ被害は</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放送を最後まで聞いてから行動をする。
13:13		

<p>110番通報 119番通報</p> <p>児童避難、 待機</p>	<p>なく、避難していますが、至急出動をお願いします。（再度、 学校名・電話番号・氏名を報告する）。」</p> <p>○担任は教室に鍵を掛け、児童を一カ所に集め静かに指示を待つ ように伝える。バリケードを築く。</p> <p>○1年担任は、学級児童を2年生クラスに移動するよう指示を出 し、現場に急行する。 （移動の際は木田先生についてもらう）</p> <p>○5年担任は、学級の児童を6年クラスに移動するよう指示を出 し、現場に急行する。</p> <p>[現場にかけつける職員の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けが人の確認 ・さすまた、椅子、消火器、ネット、段ボール等、状況に応じ て不審者に対応する。 <p>○保健主事は現場が確認できる階段に待機し、不審者が教室に近 づかないよう備える。</p> <p>○現場職員は、不審者を取り押さえ、安全が確認されたら職員室 に知らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童教室に避難。児童は教室に 鍵をかけ、いつでも避難できるよ うに、一カ所に集まり、並んで座 り、静かに指示を待つ。 <p>※児童の心理面を十分に考慮し、速 やかに避難指示を出す。</p> <p>※パニック防止に全力を尽くす。</p>
<p>13:15 児童・職員 安全確認</p>	<p>【不審者確保】</p> <p>○教頭・・・放送する。 「訓練です。安全が確認されました。（2回放送）」</p> <p>○担任は児童の安全を確認し、内線で職員室に報告する。「○年 ○○名 全員異状ありません。」</p> <p>○教頭は内線で報告を聞き、校長へ報告する。 担任→教頭→校長</p> <p>○教頭・・・放送する。 「全員の安全が確認できましたので、校庭（雨天時は体育館）に 集まってください」</p> <p>○担任は校庭へ児童を誘導する。児童の前と後ろに職員が付くよ うにする。</p> <p>○職員は、全児童が避難集合できたか確認し、報告する。 担任→教頭→校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童校庭（雨天時は体育館）へ 移動 ・「お・か・し・も」を守って避難 する。 <p>※身体に怪我がある児童は、職員が 背負う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は静かに腰をおろし、待機す る。
<p>13:30</p>	<p>不審者対応避難訓練—かけこみ110番避難訓練—</p>	

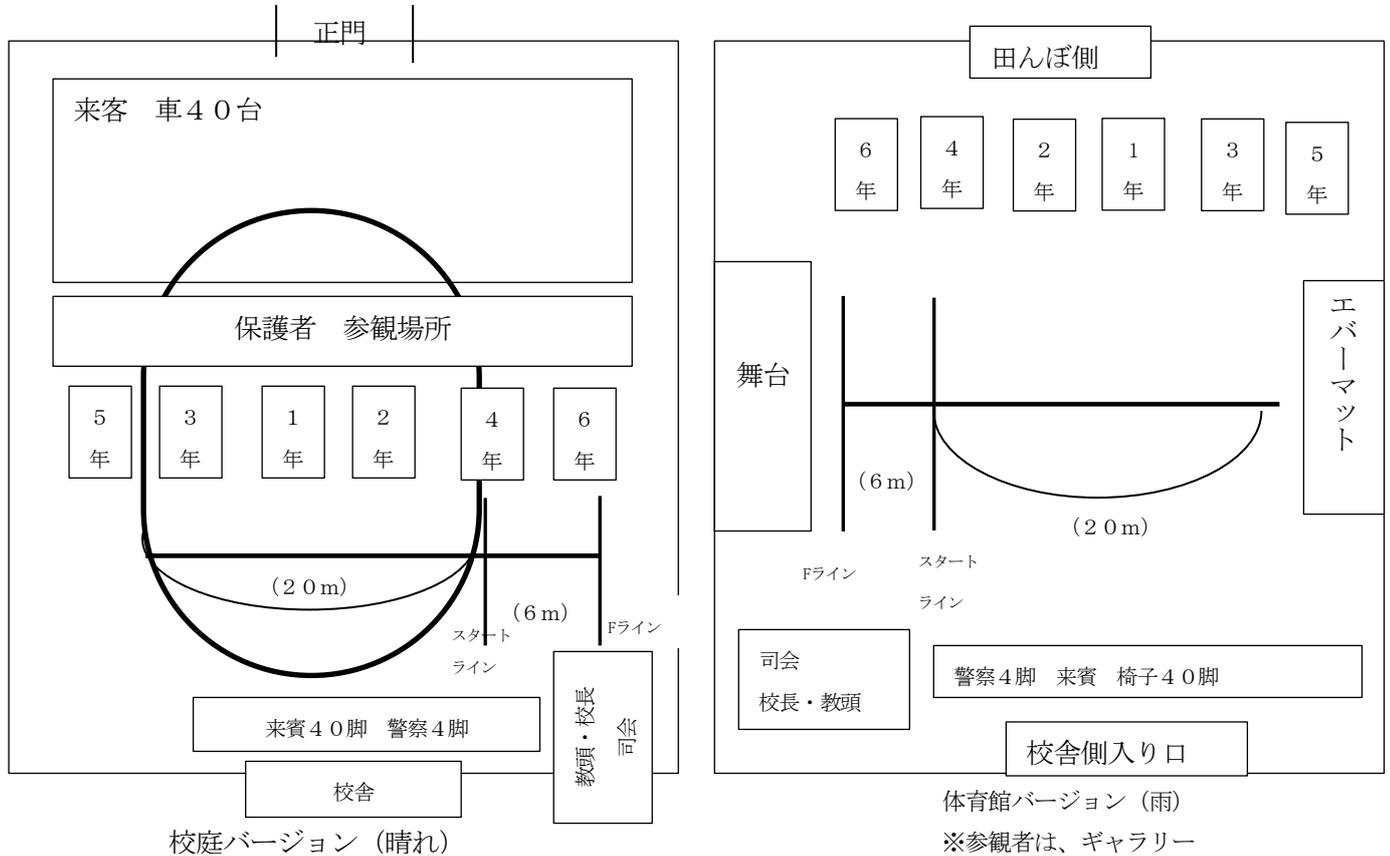
茨城県警察本部 生活安全総務課による防犯教室

学校安全・防災

1 訓練の目的・内容

「不審者は20m離れたところで狙いを定め、6m（ランドセルを背負っている場合）まで来たら実行に移し、20m走っても追いつかなければ諦めることが多い。」という研究結果を基に、6m離れたところから追いかけってくる不審者を想定し、児童20m逃げる経験をさせる訓練を行う。

2 実施場所 校庭（雨天時体育館）



- ・ 予め「Fライン」と「スタートライン」を引き、両端に三角コーン（4本）置く。各ラインの長さについては、参加する児童全員が余裕のある状態で縦1列に並べる長さにする。
- ・ 20mラインは、訓練（20mってどれくらい？クイズ）内で特定するため、目印等は置かない。

3 訓練内容

- (1) 20mってどれくらい？クイズ（約10分）各学年6名
- (2) 逃げろ！20mダッシュ訓練（約10分）各学年6名

4 準備物

- ・ 三角コーン6本 ・メジャー（20m以上のもの） ・ライン引き ・マイク（ワイヤレス）3本

5 児童持ち物 赤白帽子

6 参加児童の選出

- ・ はじめの言葉（5年 ）、お礼の言葉（6年 ）、終わりの言葉（4年 ）
- ・ クイズ（1年 2年 3年 4年 5年 6年 ）
- ・ 20mダッシュ（1年 2年 3年 4年 5年 6年
ランドセル 中身は空、黄色帽子）

7 写真記録

〇〇、〇〇

8 PTA本部に駐車場誘導・接待・記録係等の依頼をする

教頭・教務

9 はじめの言葉・終わりの言葉・お礼の言葉の代表児童は当日の業間休みに指導をする。

10 マイク担当 〇〇

かけこみ 110 番避難訓練

学校安全・防災

1 時 間 14:30から

2 内 容 下校途中で不審者に声をかけられ、代表児童が金桝石油(株)セイフル伊奈で、かけこみ110番避難訓練を行う。店の人は、声をかけられたときの様子や不審者の身長、服装などの特徴について児童から話を聞く。

3 代表児童 豊体1、3班(6年〇〇、5年〇〇、4年〇〇、〇〇、〇〇、3年〇〇
2年〇〇、1年〇〇)

4 担 当

仕事内容	職 員
当日豊体3班引率	教務(ビデオ撮影) 〇〇(写真撮影) 〇〇、〇〇
現地訓練参加 (下校指導後、校長・教頭はガソリンスタンドに向かう 高橋・大原・浅川は車を伊奈中に借りている駐車場に止めて、ガソリンスタンドに徒歩で向かう)	校長、教頭 〇〇、〇〇、〇〇
学校に残る ・下校児童の対応、交通整理、電話番(職員室)	〇〇、〇〇、〇〇
豊体3班への事前指導 11月7日(金)業間休み (不審者の特徴の見方、ガソリンスタンド店員への伝え方、逃げ方)	〇〇、〇〇、〇〇
豊体3班への事前保護者連絡	教務、〇〇、〇〇、〇〇
新聞社インタビュー 顔出し・インタビューNG確認	教頭、教務
・保護者への日課変更のお知らせと下校時間のお知らせ ・学童への連絡 (日課変更と、代表児童が遅れて学童へ行くことの連絡)	教務
代表児童の自宅までの引率 (車の人が、引率者を拾って帰る)	〇〇、〇〇 → 教務 〇〇、〇〇 → 2年担任 〇〇(学童) → 5年担任
学校に戻って見送り	校長、教頭、保健主事
体育館や校長室にお茶の準備	用務員
来客対応・職員室待機	事務・用務員